

# 飼料用米の多収品種の取組(品種名:秋田63号)

取組主体名:Q法人  
(秋田県北秋田市)

## 基本情報

- 気候  
内陸北部、年平均気温10.2℃  
年間降水量 1,671mm
- 土質  
細粒灰色低地土、細粒グライ土
- オペレータ数  
18名
- 経営面積、うち飼料用米面積  
77ha、うち30ha(H27)
- 飼料用米作付開始年度  
平成26年度

## 取組の経緯等

- 取組のきっかけ、経緯  
国の直接支払交付金の仕組みが変わったことから、取組を開始。
- 地方自治体やJA等による支援  
多収性専用品種の栽培指導  
飼料用米専用倉庫改修(JA)

## 取組のポイント

- 多収品種「秋田63号」により多収を実現(H27年産単収:706kg/10a)
- 地力の高いほ場に作付けして収量を確保し、収益性を向上させている。
- 現地研修会に参加し、飼料用米を含めた水稻の栽培技術を習得している。

## データ

	栽培方法	作付面積		単収(/10a)	
		H26	H27	H26	H27
飼料用米(品種:秋田63号)	移植	21.1ha	29.6ha	722Kg	706kg
飼料用米(品種: — )	直播	— ha	— ha	— Kg	— Kg
主食用米(品種:あきたこまち)	移植	44.9ha	27.9ha	552Kg	522kg
主食用米(品種:あきたこまち)	直播	4.4ha	5.0ha	480Kg	432kg

## 生産コスト低減の取組

- 大豆とのブロックローテーションにより、転作初年目の地力の高いほ場を選定し、700kg/10aの収量を実現している。



## 課題・今後の目標

- 高地力田に飼料用米を作付けした関係から、主食用米の収量がやや低下した。
- 土壌診断に基づく施肥設計を行い、L字型肥料や肥効調節型肥料により、肥料費の低減を目指す。